

お客様各位

2020年6月25日
ラティス・テクノロジー株式会社
営業統括本部

XVL製品リモート接続による利用方針変更について

在宅勤務やサテライトオフィスからのテレワークなどお客様におかれましては勤務体系が急速に変化する状況を鑑み、以下の条件においてXVL製品をリモート接続でご利用いただけるようにいたしますので、ご案内いたします。よろしくお願いたします。

1. リモート接続に関する取扱い

企業が従業員及び派遣また委託作業員に対して在宅勤務を命じる、または認めるケースが増加しております。現在、XVL製品使用許諾契約書における“サイト内”は事業所内と解釈し、事業所外リモート接続を認めておりませんが、恒久対策として以下の場合これを認めることといたしました。

(1) 対応する製品

- ① 下記一覧にご覧いただけますXVL Studioシリーズ、Lattice3D Reporter等のクライアント製品におけるフローティングライセンスの場合
但しノードロックライセンスは認めません。
- ② XVL Converter Lightシリーズなど下記一覧の一部製品につきまして、ライセンス申請の上、当社が特別に承認した場合、リモート接続可能とします。

■リモート接続対応製品一覧

製品群	ノードロック	フローティング
XVL Studio シリーズ	×	○
Lattice3D Reporter シリーズ	×	○
XVL Converter Plug-in シリーズ	×	○
XVL Player Pro	×	○
XVL Kinematics Suite	×	○
XVL Vmech Simulator	×	○
XVL Converter Light シリーズ	×(注)	-
XVL System Toolikit	×(注)	-
XVL Player SDK	×(注)	-

注: 特別申請審査対象製品

(2) 現在の使用許諾契約書の内容変更について

- ① 現在の使用許諾契約書第1条第3項に定義しておりますフローティングライセンスに関する「サイト内」の記載について、下線部分のように改訂いたします。
→甲のネットワーク内の複数のコンピューターに本製品をインストールし、甲の業務の範囲内で本製品を使用することができるように変更いたします。
- ② 監査権の追加
利用者が使用許諾数内にてライセンスを使用しているか、監査実施する権利を追加いたします。

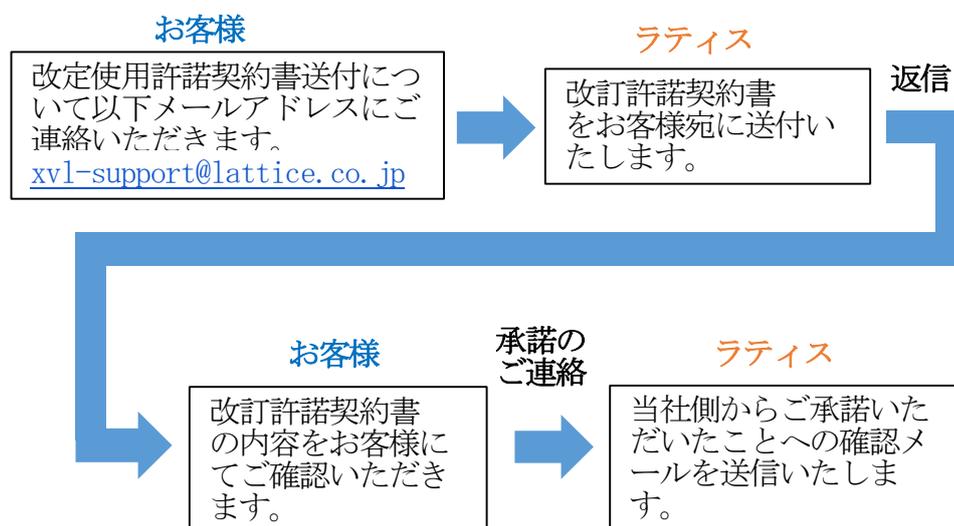
(3) サポート

リモート接続に起因する問題はサポート範囲外とさせていただきます。リモート接続に起因する問題かどうか、切り分けにつきましてお客様に実施させていただきます。

- (4) 本取扱い開始日
2020年7月1日から適応するものとします。
- (5) その他
- ① 引き続き以下のリモート接続手段においては動作保証対象外とさせていただきます。
 - ・Virtual Desktop Infrastructure
 - ・Remote Desktop Session Host
 等
 - ② リモート接続端末
お客様所有物か個人所有物かは特段規定いたしません。またお客様ごとに機密情報保持規定等に準じていただきます。
 - ③ 利用者の定義
企業内から在宅勤務の形態に変更されていることが基本であり、本特別対応により元の利用者の範囲を拡大することはありません。
 - ④ 英語版の使用許諾契約書につきましては、前述のサイト内定義がありませんので変更はありません。

2. 対応手続き

- (1) 使用許諾契約書の取り扱い
2020年10月リリース予定のXVL Studioシリーズインストーラーから順次クリックオン契約内容を変更いたします。
- (2) 使用許諾契約書に関して当社との内容確認が必要な場合
当社からお客様へ改定使用許諾契約書をお送りいたします。捺印等は不要ですが内容をご確認いただき承諾の旨、当社側に電子メールで返答いただき、当社から承諾を確認した旨返信いただくことで合意とさせていただきます。



- (3) その他
本内容は変更される場合がございます。その際は速やかにお知らせいたします。

以上